

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 第3次産業活動指数(2006年8月)

発表日2006年10月17日(火)

～天候に恵まれた8月は前期比プラスで推移～

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 エコノミスト 結城 良彦
TEL : 03-5221-4573

(単位:%)

		第3次産業活動指数										
		前期比	前年比	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業	卸・小売業	金融・保険業	不動産業	飲食店・宿泊業	医療・福祉	サービス業
04	1-3月	0.0	2.5	1.8	▲3.0	▲0.5	▲0.1	1.0	▲0.2	▲0.6	1.0	▲0.2
	4-6月	1.6	2.5	1.6	3.3	0.7	0.5	2.4	1.6	0.5	0.7	3.0
	7-9月	▲0.2	2.4	0.2	▲3.4	0.5	0.1	▲1.9	0.1	▲0.8	0.9	0.8
	10-12月	0.6	2.0	▲2.4	3.7	▲0.1	▲0.1	0.6	0.6	▲0.1	0.2	1.5
05	1-3月	1.2	2.1	3.7	▲1.6	0.4	1.5	1.6	▲0.2	2.1	0.7	2.1
	4-6月	0.2	1.9	▲0.9	0.9	1.2	▲0.2	▲0.5	0.9	▲0.1	▲0.1	0.3
	7-9月	0.4	2.2	0.0	▲0.7	▲0.1	▲0.2	3.0	0.7	0.0	0.0	0.6
	10-12月	1.1	2.6	3.6	2.1	▲0.5	1.1	4.4	1.1	0.9	0.6	▲0.2
06	1-3月	0.3	2.0	▲0.7	▲1.3	0.6	0.6	▲1.1	▲0.7	1.2	0.9	0.6
	4-6月	0.6	2.6	▲0.8	1.2	0.5	0.8	▲1.0	0.6	0.6	▲0.2	1.1
05	1月	1.6	3.1	3.5	▲2.8	0.5	4.1	2.5	▲0.6	▲0.5	0.8	1.3
	2月	▲0.7	1.5	2.0	0.8	▲0.5	▲2.4	▲0.7	0.3	▲0.6	▲0.5	▲0.2
	3月	▲0.4	2.0	▲0.7	▲1.2	1.9	▲2.2	▲0.2	▲1.2	0.0	0.5	▲0.5
	4月	1.0	1.9	▲0.2	1.0	0.3	2.6	0.2	1.1	0.3	▲0.1	0.8
	5月	▲0.8	1.9	▲2.1	▲1.0	▲0.8	▲1.0	▲0.3	0.8	▲0.4	▲0.2	▲0.9
	6月	0.6	1.9	1.8	3.4	1.2	0.4	▲0.3	0.1	0.1	▲0.3	1.5
	7月	▲0.3	1.3	▲3.2	▲2.9	▲0.6	0.1	1.1	▲0.2	▲0.2	0.1	▲0.4
	8月	1.1	3.2	3.9	1.0	0.3	0.7	2.5	1.1	0.0	0.6	0.7
	9月	▲0.7	2.0	0.6	▲0.8	▲0.6	▲2.1	1.3	▲0.5	0.9	▲0.7	▲0.5
	10月	1.0	3.2	0.4	4.6	▲0.4	1.6	1.5	0.9	0.2	0.0	0.0
	11月	0.3	2.7	▲0.4	▲3.1	0.3	0.9	1.0	▲0.2	▲0.5	0.7	0.4
	12月	0.0	2.2	5.3	▲0.6	0.1	0.4	1.2	0.6	1.6	1.2	▲1.2
06	1月	1.5	2.3	▲2.6	2.9	0.2	3.1	0.0	▲0.3	▲1.0	0.7	1.9
	2月	▲1.4	2.5	▲1.5	▲2.8	▲0.8	▲3.5	▲1.9	▲1.3	1.6	▲2.0	0.7
	3月	▲1.1	1.2	▲0.8	▲2.3	2.3	▲1.9	▲2.9	0.0	0.6	1.8	▲2.9
	4月	1.6	2.1	2.5	3.2	▲1.4	2.9	2.2	1.0	▲0.1	▲1.9	2.3
	5月	0.7	3.6	▲2.5	▲0.3	1.0	0.8	▲0.5	0.1	0.4	2.6	1.6
	6月	▲0.8	2.0	▲1.3	2.6	0.0	▲0.3	▲0.9	0.0	▲1.3	▲1.6	▲1.5
	7月	▲0.3	2.0	▲1.6	▲2.7	▲0.5	▲0.4	▲1.1	0.1	▲0.3	0.8	1.0
	8月	0.7	1.6	6.0	1.9	1.0	0.7	▲1.1	0.2	0.9	0.0	▲0.3

(出所)経済産業省「第3次産業活動指数」

○ 第3次産業活動指数：前月比+0.7%と2ヶ月ぶりのプラス

8月の第3次産業活動指数は前月比+0.7%となり、ほぼ市場予想通り（コンセンサス：同+0.8%、レンジ▲0.1%～+1.6%）の結果であった。主要11業種のうち、プラスに寄与したのは電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、卸売・小売業、運輸業、飲食店・宿泊業、学習支援業、不動産業、複合サービス事業の8業種。マイナスに寄与したのは金融・保険業、サービス業の2業種。横ばいが医療・福祉であった。

今回、特にプラスに大きく寄与したのが卸売・小売業（前月比寄与度+0.46%ポイント）である。7月は天候不順により個人消費が抑制されていたが、8月は一転して天候、気温に恵まれ、消費が持ち直した。商業販売統計や景気ウォッチャー調査も天候要因の剥落により良好な結果となっていたが、第3次産業活動指数も個人消費の回復によって持ち直しが確認できたといえる。また、7月までの卸売・小売業が抑制されていた要因のひとつとして、天候不順以外にも原油高があったと考えられる。このところ落ち着いてきた原油価格が今後も継続していけば、卸売・小売業も底堅く推移し、第3次産業活動指数を下支えしていくこととなる。

このほか、卸売・小売業以外にプラスに大きく寄与したのは、電気業や情報サービス業といった業種である。電気業については、8月の気温が西日本を中心に高めであったことから冷房の使用量が増え、前月比増になったと考えられる。また情報サービスについては、7月に大きく落ち込んでいたため、今回はその反動とみられる。

○ 天候不順の影響で7-8月平均は低め

今回の結果から7-8月の平均を計算すると、4-6月期から0.2%の減少となる。四半期ベースでのプラスを維持するためには、9月の第3次産業活動指数が前期比+0.3%以上となる必要がある。第3次産業活動指数は7四半期連続プラスで推移してきているだけに、7-8月の平均はやや弱めの数値といえる。天候不順で7月の個人消費が抑制されていたことが一番のマイナス要因であるが、9月以降こうした天候要因の剥落や、雇用環境の改善を背景に消費は持ち直しを続けると考えられる。第3次産業活動指数は今後も底堅く推移していくと考えられ、仮に7-9月期がマイナスになったとしても、それほど悲観するようなどはないだろう。

○ 8月全産業活動指数も2ヶ月ぶりの前月比プラスを予測

今回の第3次産業活動指数の結果をもとに8月の全産業活動指数を予測すると、前月比+0.7%（前年同期比+0.9%）となる。第3次産業活動指数がプラスとなったことに加え、鉱工業生産指数も堅調に推移したことから、8月はプラスに転じる見込みである。先行きについても、鉱工業生産が回復ペースを鈍化させながらも安定して推移していくと考えられるうえ、第3次産業活動指数も回復基調を維持していることから、全産業活動指数は底堅く推移していくこととなる。

第3次産業活動指数（季調値）

